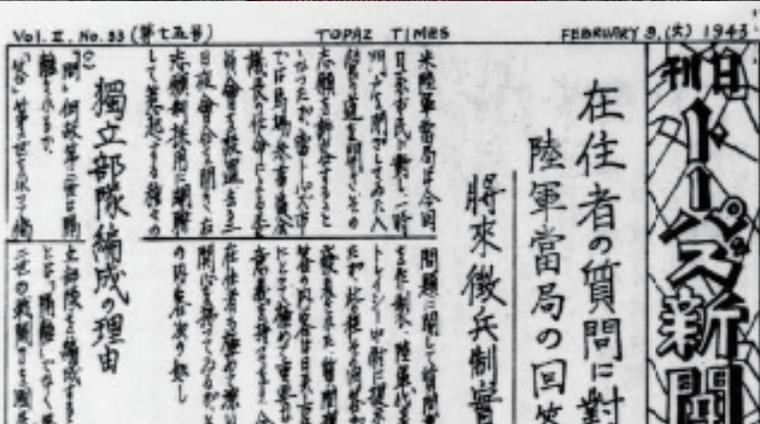


デジタルアーカイブ学会 第4回研究大会



[左上] 焼失前の首里城 (宮本佳奈 . CC BY 4.0)
[左下] 日系米人収容所で発行されていた新聞 Topaz times (1943/2/9) (Library of Congress)
[右上] 葛飾北斎 (Minneapolis Institute of Art. Public Domain)

日時

2020年4月25日(土)～26日(日)

場所

東京 一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 2F

主催

デジタルアーカイブ学会

協賛

デジタルアーカイブ推進コンソーシアム、一般財団法人デジタル文化財創出機構
株式会社 KADOKAWA、株式会社出版デジタル機構、一般財団法人日本児童教育振興財団、集英社
アート・ドキュメンテーション学会、記録管理学会、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、情報知識学会、
情報保存研究会、情報メディア学会、東京文化資源会議、日本アーカイブズ学会、日本教育情報学会、
日本出版学会、日本デジタル・ヒューマニティーズ学会、文化資源学会、本の未来基金

後援

正会員・賛助会員 5,000 円、学生会員 2,000 円、非会員 8,000 円
懇親会費 5,000 円

参加費

プログラム

■特別講演(4月26日(日))

漫画家 赤松 健(日本漫画家協会常務理事)

「2つの実証実験を通して探る、デジタルアーカイブのビジネス的利活用法」

■ワークショップ(4月25日(土))

1. 自然史・理工系デジタルアーカイブの現状と課題
2. 8mm 動的映像のもつ資料価値を採掘する：その現状と展望
3. 「公文書」の発見—公文書・団体文書を真に公共財にするために—

4. 地域コンテンツのアーカイブプロジェクト
5. 災害デジタルアーカイブ・災害記録を未来に活かす
6. アートシーンのデータ流通とコンテンツ活用
7. デジタルアーカイブ論構築
8. デジタルデータの保存・管理—現場視点からの共有課題を考える

■シンポジウム(4月25日(土))「京都アニメーションと川崎市市民ミュージアムで何が起こったのか — 危機への対応とデジタルアーカイブ」

■一般発表(4月26日(日))

■企業展示

<http://digitalarchivejapan.org/kenkyutaiikai>

お問合せ：研究大会事務局：taikai@digitalarchivejapan.org

